

別紙様式1（公募実施要領）

令和8年度休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化技術導入実証事業に係る入札可能性調査実施要領

2026年2月20日
経済産業省
大臣官房 産業保安・安全グループ
鉱山・火薬類監理官付

経済産業省では、令和8年度休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化技術導入実証事業の受託者選定に当たって、一般競争入札（又は企画競争）に付することの可能性について、以下の通り調査いたします。

つきましては、下記1. 事業内容に記載する内容・条件において、的確な事業遂行が可能であり、かつ、当該事業の受託者を決定するに当たり一般競争入札を実施した場合、参加する意思を有する方は、別添1登録様式に記入の上、4. 提出先までご登録をお願いします。

1. 事業内容（※別紙による記載も可能）

(1) 概要

仕様書参照

(2) 事業の具体的な内容

仕様書参照

(3) 事業期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(4) 事業実施条件

本事業は、休廃止鉱山における坑廃水処理の省エネルギー対策として期待できる自然回帰型坑廃水浄化システム（以下、「PT」という）に関する最適な導入方法の検討とその導入実証、および、山間部に存在する坑廃水処理施設で管理コストが負担となっている休廃止鉱山の管理技術の高度化

(無給電・長距離遠隔監視システム等)に関する実証調査を行うものである。

そのため、PT導入の検討事例とするモデル鉱山の選定、選定鉱山の関係データ収集・整理、最適なPTの検討、実証事業の間における水質変化の把握や水質改善のメカニズムの解明、これらを踏まえた現場での実規模相当の実証試験を通じた電力や薬剤削減量に基づく省エネルギー効果等の検証、無給電・長距離遠距離監視システム等に関するデータ収集・分析、モデル鉱山毎の実証試験を通じた省エネルギー効果や異常気象時の適用可能性等の検証等を行うための専門的な知見やノウハウ、情報、研究体制や実績を有していること。

2. 説明会は実施しません。質問がある場合は、令和8年3月5日（木）17時00分までにメールで行ってください。質問がない場合であっても寄せられた質問及び回答を共有するので、5.に連絡先（社名、担当者名、電話番号、メールアドレス）を令和8年3月5日17時00分までに登録してください。

3. 参加資格

- ・予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、予決令第70条中、特別の理由がある場合に該当する。

- ・経済産業省からの補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている者ではないこと。
- ・過去3年以内に情報管理の不備を理由に経済産業省との契約を解除されている者ではないこと。

4. 留意事項

- ・登録後、必要に応じ事業実施計画等の概要を聴取する場合があります。
- ・本件への登録に当たっての費用は事業者負担になります。
- ・本調査の依頼は、入札等を実施する可能性を確認するための手段であり、契約に関する意図や意味を持つものではありません。
- ・提供された情報は省内で閲覧しますが、事業者に断りなく省外に配布することはありません。
- ・提供された情報、資料は返却いたしません。

- ・契約を行う場合、委託事業の事務処理・経理処理につきましては、経済産業省の作成する委託事業事務処理マニュアルに従って処理していただきます。
- ・契約を行う場合、委託事業の事務処理・経理処理等につきましては、更に以下の事項について対応を頂く必要があります。

①事業の実施に当たっては、事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理について、再委託（委託業務の一部を第三者に委託することをいい、請負その他委託の形式を問わない。以下同じ。）を行うことはできません。

なお、「委託事業事務処理マニュアル」上で明示している、本事業における再委託を禁止している「事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理業務」については以下の通り。

【事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理業務】

- ・事業内容の決定（実施手段・方法、対象者、スケジュール、実施体制）
- ・再委託・外注先の業務執行管理（再委託・外注内容の決定、進捗状況の管理方法及び確認、成果及び成果及び結果のとりまとめ方法、とりまとめ）
- ・報告書（構成及び作成、再委託・外注先の内容とりまとめ）

②総額に対する再委託の割合が50%を超えないか。超える場合は、相当な理由があるか理由書の提出を求めます。なお提案書等において再委託費率が50%を超える理由書を添付した場合は、経済産業省で再委託内容の適切性などの確認を行い、落札者に対して、契約締結までに履行体制を含め再委託内容の見直しを指示する場合があります。

なお、本事業は再委託費率が高くなる傾向となる事業類型には該当しないため、個別事業の事情に応じて適切性を確認します。

＜事業類型＞

- I. 多数の事業者を管理し、その成果を取りまとめる事業
(主に海外法人等を活用した標準化や実証事業の取りまとめ事業)
- II. 現地・現場での作業に要する工数の割合が高い事業
(主に海外の展示会出展支援やシステム開発事業)
- III. 多数の事業者の協力が必要となるオープン・イノベーション事業
(主に特定分野における専門性が極めて高い事業)

③委託費を不正に使用した疑いがある場合には、経済産業省より落札者に対し必要に応じて現地調査等を実施します。また、事業に係る取引先（再委託先、外注（請負）先以降も含む）に対しても、必要に応じ現地調査等を実施するため、あらかじめ落札者から取引先に対して現地調査が可能となるよう措置を講じていただきます。

調査の結果、不正行為が認められたときは、当該委託事業に係る契約の取消を行うとともに、経済産業省から新たな補助金の交付と契約の締結を一定期間（最大36ヶ月）行わないこと等の措置を執るとともに当該事業者の名称及び不正の内容を公表します。

具体的な措置要領は、以下のURLの通りになります。

https://www.meti.go.jp/information_2/publicoffer/shimeiteishi.html

④契約を行う場合、契約締結前までに（i）情報管理に対する社内規則等（社内規則がない場合は代わりとなるもの。）、（ii）その他原課において必要と判断する書類等、（iii）各業務従事者の氏名、所属、役職、業務経験、その他略歴（学歴、職歴、研修実績その他経歴、専門的知識その他の知見、母語及び外国語能力、国籍等のいずれかから原課で任意に設定）、（iv）情報取扱者名簿及び情報管理体制図（仕様書 様式4）の提出を求め、適切な情報管理体制が確保されているかを確認します。

⑤委託契約書の規定に基づき提出された実績報告書等については「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成11年5月14日法律第42号）に基づき、不開示情報（個人情報及び法人等又は個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの等）を除いて、情報公開の対象となります。

なお、開示請求があった場合は、不開示とする情報の範囲については経済産業省との調整を経て決定することとします。

⑥委託契約書の規定に基づき提出された履行体制図について、契約締結時及び事業終了後、経済産業省ホームページで公表します。不開示とする情報の範囲については経済産業省との調整を経て決定することとします。

5. 提出先・問合せ先

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

経済産業省 大臣官房 産業保安・安全グループ 鉱山・火薬類監理官付

小島、神林宛て

TEL 03-3501-1511 (内線: 4961)

E-mail bzl-kouzan-kayaku@meti.go.jp

※郵送またはE-mailにてご提出願います。

6. 提出期限

令和8年3月12日（木）12:00

※複数者からの登録があった場合、その時点で入札可能性調査を終了し、一般競争入札（又は企画競争）を実施することがあります。

(別添1)

(様式)

年月日

入札可能性調査 登録用紙

事業者名

住 所 : _____

商号又は名称 : _____

代表者氏名 : _____

連絡先

T E L :

F A X :

E-mail :

担当者名 :

公募要領に示された事業内容、事業実施条件等について熟読し、承知の上、
登録致します。